

<益田地区>

	意見	回答	担当 委員会
1	<EV車充電設備の整備について> 出雲方面に車で出かけたとき、新しく出来た仁摩の道の駅に寄った。トイレがとてもきれいで気持ちよい。EV車対応の充電設備も備えている。アクスや多岐の道の駅にもあったと思うが、益田市内の主要場所にも必要ではないか。	意見として承る。	総務文教
2	<直営業務の民間委託について> 市が直営で行っている仕事を民間に委託することで、仕事量を増やし効率化ややりがいに繋げ、人口流出の減少対策になるのではないか。	意見として承る。	総務文教
3	<若者世代の減少対策について> 若者世代が減ってきているとのことだが、年代や性別は。経産省データ「リソース」をもとに、しっかり研究するべき。	意見として承る。	福祉環境
4	<子育て世代のひとづくりについて> 子ども人口減少のひとつとして、母親世代のコミュニケーションやネットワークが少なくなっているのではないか。4館あった児童館も閉鎖している。児童館は単に子どもたちのためのものではなく、お母さんのネットワークもあった。それが今は感じられない。情報交換や相談する場がない。出産適齢年齢、子育て世代のひとづくりが重要。どんなことをするのがひとづくりだと思っているのか。地域行事においても、高齢化し働き世代の参加が少ない。一世代超えて高校生の協力を得た。必要な世代が地域から抜けている事が問題。	現在、第6次益田市総合振興計画が策定され、大きな基本政策で、結婚・出産・子育ての支援が記載されている。福祉環境委員会では今回、若者世代との意見交換をし、若者の意見を直接聞いて市政運営に活かしていこうという試みをした。	福祉環境
5	<部活動の地域移行について> 総務文教委員会の中で、部活動の地域移行について、説明の中で時間外勤務が100時間に上るとのことだが、その分給与に反映されていると思う。地域移行することで、時間外勤務が減れば、そのお金を活用できるのではないか。	教員の時間外勤務手当は100時間あっても100時間分支払われない。基本給の4%と定められている。	総務文教
6	<部活動の地域移行について> 教員の中には自分が手塩に掛けてチームを作りたいと思っている人もいるのではないか。保護者と教員の想い、働き方改革等を含めて、地域移行に対する想いのズレがあり、国や県からの明確な指導助言がなく手探り状態である状況をクリアにしていけないと進めないのではないか。	競技経験者の指導者であれば、言われるとおりにかもしれないが、中には全く競技経験がない教員が担当することもある。そういう状況も含めて、地域移行の話が出てきている。私立と公立、大規模校と小規模校の問題を解決する役割のひとつである。この問題については、議論を深めて、子どもたちにとってどの形が一番良いのか研究していく。	総務文教
7	<総合型スポーツクラブの設立について> 総合型スポーツクラブの設立によって、自分のやりたいクラブに入れなという問題解決ができるのでは。	意見として承る。	総務文教

8	<p><観光面からの産業経済の課題について> 観光面からの産業経済の課題とのことだが、課題をいくら突き詰めても、課題は課題でしかない。仰々しく言ったら、良い面が見えてこない。「繋がり」「連携」「共有」「協働」が必要とのことだが、そんなことはわかっている。それをするために誰がリーダーシップをとるのか。観光協会？市の組織が機能していない。今、DMOの話も出ているが、DMOは広範囲なので、もっと足下から見つめ直すようなことをしていただきたい。</p>	<p>課題ばかりを並べてもネガティブな発想になるのはその通りだと思う。今ある資源をしっかりと見つめて、良いところをどのように生かしていくかが大切である。今までは、議員だけで議論してきたところだが、様々な意見を取り入れようとの事で、まずは地域団体と意見交換会を実施した。この議会報告会での皆さまからの意見を参考に、観光面からの産業経済の課題解決に繋げていければと思っている。</p>	経済建設
9	<p><日本遺産について> 日本遺産について、益田市民はもとより益田地区の地元の人でさえ知られていない。市外から訪れる方のほうが詳しい。そのような地域に魅力があるのかどうか。市が決まったことを、地域にやっってくださいと言うだけで、詳しいことは明示しない。</p>	意見として承る。	総務文教
10	<p><ノーマイカーデーについて> 毎月の広報に1日・20日はノーマイカーデーとあるが、どういうことか。</p>	環境負荷の軽減策として、通勤時に自動車を使わず、公共交通機関や自転車を利用しようというものである。	総務文教
11	<p><後期高齢者医療保険について> 医療保険が2割負担となった。負担増は大変である。</p>	意見として承る。	福祉環境
12	<p><歴史文化交流館の名称について> 日本遺産ビジターセンターが名称として仮についていたが、歴史文化交流館が正式名称となった。なぜ日本遺産という名称を外したのか。係わってきた人たちに何も説明が無い。島田家の利用についてもわからない事が多い。</p>	一般質問で、地域住民・市民からの要望があれば、愛称などをつけることを検討すると市長が答弁されている。	経済建設
13	<p><議会中継について> 議会中継について、ライブ放送・再放送があるが、再放送はタイムラグがある。インターネット配信などで、早く見ることは出来ないか。また、ひとまるビジョンの加入率も30%台と低く、浸透していないのでは。</p>	意見として承る。	広聴広報
14	<p><はたちの集いの開催日程について> はたちの集いについて、コロナの影響で出来なかった年を同じ年の週をまたいで開催したが、今後の対応は。正月休み中なら良いが、その為にもう一度帰省しなければならない日程なら負担増が懸念される。</p>	<p>執行部に確認する。 【執行部回答：協働のひとづくり推進課】 今後は年1回の開催予定であり、日程は第2月曜日が成人の日であるので、第2日曜日を基本とする。</p>	総務文教
15	<p><告知端末放送内容のスマートフォンへの転送について> 告知端末で朝・夕と放送しているが、この内容をスマートフォンに転送できないものか。その方が周知がはかれると思う。</p>	放送内容については、市のホームページでも公表している。	総務文教
16	<p><小・中学生の1人1台端末の活用について> 小・中学生に1人1台端末が配布されているが、その成果は。先般中学生の企画でスタンプラリーがあったが、そのチラシは手書きであった。タブレット等を活用できなかったものか。まだまだ、活用できているもの、出来ていないものがある。もっと活用できるようになればと思う。</p>	端末利用にはメリット・デメリットがあり、利用者はしっかりと理解して正しい使い方をする必要がある。また、指導者も理解する必要がある。学力に関しては、あくまでも道具としての活用であって、すぐに成果を求めるものではない。	総務文教

17	<市民学習センターのWi-Fiについて> 市民学習センターの個別の部屋にWi-Fiがない。	意見として承る。	総務文教
----	--	----------	------